

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	地域空間情報モデリング小委員会		主 査 名：大内宏友 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会		委員長名：三井和男
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築・都市・地域計画における生命環境の空間のモデル化を目的とし、GIS を用いた都市・地域環境の解析により生命を育む社会に向けた提案を行う。 ・13 年度：地域空間情報の可視化及びモデル構築について相互理解を深める ・14 年度：領域横断的な地域空間情報の可視化・モデル構築について議論する。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：大内宏友 (日本大学) 幹事：山田悟史 (中央大学) 委員：河中俊 (国土技術政策総合研究所), 篠崎道彦 (芝浦工業大学) 田中みさ子 (大阪産業大学), 小林隆 (東海大学), 瀧澤重志 (京都大学), 小林祐司 (大分大学), 中澤公伯 (日本大学), 大場亨 (市川市), 藤井健史 (立命館大学), 佐藤充 (パスコ), 江面嗣人 (岡山理科大学), 野村美通 (M&Kコンサルタンツ)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2014 年度予算	140,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第37回情報・システム・利用・技術シンポジウム ・小委員会企画OS「地域空間情報と防災・減災」 参加者数 25名 『第37回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集』所収 2. シンポジウム「GISを用いた防災・減災の最前線」 参加者数 54名 『同名資料』
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 各分野の地域空間情報の可視化方法・モデル構築について理解を深めた。 2. OS とシンポジウムを開催し領域横断的な議論を行った。 3. 地域空間情報を用いた研究を通じて具体的な社会貢献を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 各専門分野の相互理解の深化と議論の継続 2. 領域横断的な地域空間情報の可視化とモデル構築の具体化 3. 具体的な事例研究及び社会貢献の充実化
その他	G空間エキスポ エデュケーションプログラム 「GIS とオープンデータによる地域課題解決の実際」を支援した。